

大船渡市立大船渡小学校

2014年 8月 5日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報
<http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 2011年3月23日付岩手日報

【場所】

大船渡湾から200mの位置にある。
住所:岩手県大船渡市大船渡町笹崎67

【東日本大震災による被害】

津波により校舎が一部損壊。(1)



【震災当日の様子】

大船渡小は学校が近所の住民も逃げてくる避難場所であった。11日も地震発生後、児童はマニュアル通り校庭へと避難した。

ところが、津波が街をのみ込みながら、迫るのが校庭から見たため、校長はさらに高台にある大船渡中への移動を決断した。児童は校門より山手のフェンスをよじ登り、1、2年生は教職員が持ち上げた。全児童が避難後、津波は校庭をのみ込み校舎1階に浸入した。(2)



3階建ての校舎(2014/3/17撮影)

【調査して言えること】

学校からは海を見ることができる。
学校の敷地自体の標高は最大で15mほどだが、学校裏の住宅地が高台になっていて標高30mほどある。学校横の道路から行くことができ、150~200mくらい進めば標高30m地点まで登れることが分かった。高台への避難がしやすい学校である。



大船渡小学校と学校横の道路(2014/3/17撮影)
道路が坂道になっているのが分かる



学校裏の住宅街から見た校舎と海(2014/3/17撮影)
校舎から海の様子が見えたことが伺える